

# 池本善巳展

写 {故郷} 真 {古里} 展

# FUTURE

「フューチャーノスタルジー」

# NOSTALGIE

会場

岡山芸術創造劇場ハレノワ小劇場

会期

2024 / 12.17 (TUE) - 12.27 (FRI)



岡山芸術交流2025連携事業

主催 池本善巳写真展実行委員会

声明

入場料\_当日¥1,500/前売り¥1,200/学生・障がい者手帳をお持ちの方¥1,000  
※前売りチケットの購入は「ぎんざや」まで。 ※学生証・障がい者手帳をご提示ください。 ※中学生以下は無料。

YOSHIMI IKEMOTO PHOTO EXHIBITION - FUTURE NOSTALGIE -

今回の写真展は「フューチャーノスタルジー・懐かしき未来」をテーマとしている。令和の時代を生きる私たちが感じる現代社会の疎外感や閉塞感に対し、山陰という「地域独自の視点と風土」が生んだ写真家・池本善巳は、レンズを通して多様な一般市民の生活史を鮮やかに映し出す。池本の作品は、ノスタルジックでありながら常に普遍的な瞬間を切り取っており、それらを通じて「生きる希望」や「未来への希望」といった新たな展望を拓く「希望のインスピレーション」を我々に提示してくれる。つまり、この写真展は単なる過ぎ去ったノスタルジーにとどまらず、未来を「意志」する力へと繋がっていくものでもある。今回はその数々のアーカイブの中から、作品集『そでふれあうも』や『近世店屋考』を中心に、現代では貴重とされる「雁皮100%」の最高級手漉き因州和紙にプリントされた作品約50点にて構成。山陰の独自の視点と風土を通して表現された池本氏の視点と、因州和紙の風合いが織りなすアルカイックモダニズム的な世界観を、この機会にぜひご体験ください。なお、この写真展は「岡山芸術交流2025」の連携プログラムとして開催されます。

未来を意志する過去

時間

10:00-21:00  
(入場は20:30まで・最終日は16:00まで)

# 池本喜巳

## 写真展

「故郷」 「古里」

### FUTURE

「フューチャーノスタルジー」

### NOSTALGIE



在りし日が呼び覚ます「未来」への写真展  
それは、後ろを向いていると見えながら、未来を「意志」するものでもありうる

2024 / 12.17 (TUE) - 12.27 (FRI) 10:00-21:00  
(入場は20:30まで・最終日は16:00まで)

池本喜巳



池本喜巳 / いけもと・よしみ: 1944年鳥取市生まれ。1967年日本写真専門学校卒業(現日本写真映像専門学校、大阪)卒業。1970年鳥取市池本喜巳写真事務所設立。77年より写真家 故植田正治の助手を務めながら(～96年)、ライフワークとして鳥取市を中心に、山陰の風景や個人商店、人物などを記録している。また、従来の写真の概念にとらわれず、写真のもつ可能性を追究した現代アートの作品づくりも行い、国内外で発表している。

■主な写真集: 『そでふれあうも』1993年(G.I.P. Tokyo) / 『大雲院 祈りの造形』1996年(大雲院) / 『池本喜巳作品集 鳥取百景』1999年(鳥取銀行) / 『池本喜巳写真集 三徳山三仏寺』2002年(新日本海新聞社) / 『近世店屋考』2006年(合同印刷株式会社) / 『そでふれあうも2』2014年(合同印刷株式会社) / 『因伯の肖像』2014年(今井印刷株式会社) / 『on Display』2023年(Case Publishing)

EVENT\_1 19:00-21:00

12.17 (TUE)

オープニングトーク  
「フューチャーノスタルジー」

能勢伊勢雄 × 池本喜巳 × 森山幸治 × 中西亘  
(ペパーランド主宰) (写真家) (サウンド・エンタテインメント) (状況主宰)



能勢伊勢雄/のせ・いせお: 写真家・美術展企画・音楽評論家・Live House PEPPERLAND主宰。阿木謙の『Rock Magazine』を編集・執筆者として関わる。主な展覧会に、2005年岡山・倉敷市連携文化事業『スペクトル能勢伊勢雄 1968-2004』展、水戸芸術館『X-COLORグラフィティ in Japan』、奈良町現代美術館『能勢伊勢雄写真展 MORPHOLOGY』展、大分県立美術館『OPAM × 能勢伊勢雄シアター・イン・ミュージアム』…など多数。アートビオトーブ那須『山のシュレ』、京都国際映画祭など講演多数。写真家集団Phenomenaを結成。『美学校岡山校』を開校。著作・評論等多数。福武教育文化振興財団「福武文化賞」受賞。慶應義塾大学アート・センター収蔵作家。

EVENT\_2 19:00-21:00

12.21 (SAT)

アーティストトーク  
「中国写真家集団の遺伝子」

軸原ヨウスケ × 池本喜巳 × 能勢伊勢雄  
(COCHAE) (写真家) (ペパーランド主宰)



じくはら・ようすけ/YOSUKE JIKUHARA  
1978年生まれ。岡山在住のデザイナー。「遊び」をテーマにしたデザインユニット『COCHAE』(2003年～)のメンバー。グラフィック折り紙や紙のプロダクト、『岡山名物まきびだんご』(山方永寿堂)などのパッケージデザイン、出版企画や商品開発など幅広く活動している。著書に『武井武雄のこけし』(PIE International, 2012年)、『アウト・オブ・民藝』(共著、誠光社、2019年)、など。福武教育文化賞受賞(2021年)。

EVENT\_3 19:00-21:00

12.22 (SUN)

アーティストトーク  
「生きざまを写すレンズ」

松村圭一郎 × 池本喜巳 × 能勢伊勢雄 × 中西亘  
(文化人類学者) (写真家) (ペパーランド主宰) (状況主宰)



松村 圭一郎/まつむら・けいいちろう  
文化人類学者。著書に『所有と分配の人類学』(ちくま学芸文庫)、『うるめたさの人類学』(ミシマ社)、『くらしのアナキズム』(ミシマ社)、『はみだしの人類学』(NHK出版)など、共編著に『文化人類学の思考法』(世界思想社)、『働くことの人類学』(黒鳥社)。東京ドキュメンタリー映画祭2018の短編部門で『マッガビット 雨を待つ季節』、同映画祭2020の特集『映像の民族誌』で『アッパ・オリの一日』が上映される。

協賛

公益財団法人  
石川文化振興財団  
ISHIKAWA  
FOUNDATION

ELD



STAPPY

e.K consultant

Hello, New Local!  
VIS-À-VIS



袖振り合うも多生の縁